

むらかみの話題

ピアノとチェロの音色に魅了

6月27日(金) 神納東小学校



地元山屋区在住の新潟県立大学の石井玲子准教授とチェロ演奏者のウィリアム・プランクルさんが来校され、ピアノとチェロのデュオ・リサイタルが開かれました。この日は、全校児童が鑑賞し、本物の音色を体験しました。約1時間集中して聞き入り、とても感動した様子でした。



6月28日(土) 三面地域まちづくり協議会

大自然の魅力を感じました

地域の雄大な自然をまちづくりを生かせないかと、朝日連峰登山道の三山口から三面避難小屋まで山歩きを行いました。自然環境保護員の指導のもと、枯れたナラの木のマーキングや支障木の処理、また小屋の清掃と草刈りに汗を流しました。お昼にはその場で採ったミズの味噌汁で昼食をとり、参加者からはその先に連なる大朝日岳や以東岳までの稜線を歩いてみたいとの声が続きました。



このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します

6月19日(木) 朝日みどり小学校
身近な森に学ぶ



4年生の総合学習で学校周辺の樹木の名前を調べました。朝日みどり小学校には100種類もの木があるといいますが、講師の佐藤巧さんに木の役割や名前の由来、見分け方などについて説明を受けながら50種類の名前を覚えてもらいました。2学期には、地域の方々と一緒に名札を付ける予定です。「もっと木の勉強がしたい。」小学校の木を大切にしたい。などの子どもたちの言葉から、身近な地域を知ることがふるさとへの誇りや愛着につながると思われました。

ヒラメ稚魚の放流

6月24日(火) 岩船海水浴場



岩船小学校の3、4年生と岩船保育園の年長組の子どもたちが、ヒラメの稚魚を放流しました。この稚魚放流は、新潟漁業協同組合岩船港支所の協力により昭和60年頃から毎年行っているものです。小さいながらもすでにヒラメの形をしてるかわいい稚魚は、子どもたちの手によって大海原へ旅立ちました。

「第29回荒川地区交通安全ゲートボール大会」開催

7月2日(水) あらかわ総合運動公園ゲートボール場



和やかなムードの中で行われた始球式とは一転、試合では参加9チームによる熱戦が繰り広げられました。結果は以下のとおりです。

- ・優勝—金屋A
- ・2位—春木山
- ・3位—大津
- ・4位—海老江

優勝した金屋Aチームは、9月17日に新発田市で開催される阿賀北ブロック大会に出場します。

ウェブで検索してみてね



ラベンダーの香りに包まれて…

7月5日(土) 旧荒島保育園



あらかわ地区まちづくり協議会(事業部会)が、運動公園で育てたラベンダーを収穫し、クラフト作り体験会を開催しました。

当日は、日頃から作業に協力してくれている地域サポーター約20人が参加し、自ら収穫してきたラベンダーを使ってバスケット作りに挑戦。会場には収穫したての爽やかなラベンダーの香りが広がっていました。

30年の伝統太鼓で海の安全祈願

7月6日(土) 寝屋漁港



国の名勝天然記念物・「笹川流れ」に夏の訪れを告げる海開きが「海の縁日」として開催され、漁船パレードや活魚のつかみどり、よさこいソーランなどのさまざまな催しが行われました。

海の安全を祈願してオープニングで演奏した日本国太鼓。今年は節目となる30周年を迎える中、後継となる小学生の演奏も加えられ会場全体を盛り上げました。また、今秋には「日本国太鼓30周年記念イベント」の開催を予定し、地域の伝統として活動が続けられています。

200メートルの涼味

7月13日(日) 大毎集落



国の平成の名水百選に選定されている「吉祥清水」を多くの人に知ってもらおうと平成20年に始まった「おおごと名水まつり」。当日は、小雨が降るあいにくの天候の中、約600人の参加者で賑わいました。メインは、地元住民70人が2日かけて、40本の竹をつなぎあわせ作った2000mの大そうめん流し。参加者は楽しみながら涼味を堪能しました。